

意見広告

東北地方太平洋沖地震に際して

自民党横浜市南区第五支部長 ゆさ大輔

まず、このたびの大地震により亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された皆様、そのご家族の方々に對しまして、心よりお見舞い申し上げます。また、一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

淡路大震災のデータによると、犠牲者の約8割の方は発生から15分の間に亡くなられております。また、死者の85%は住居の倒壊など

津波による甚大な被害がテレビや新聞などでも報じられております。

横浜では徒歩での帰宅を余儀なくされた方々が大変な苦勞をされ、食事や休憩、お手洗い場所の確保に大きな課題を残しました。

またまた予断を許さない状況下ですので、小・中学校などの避難場所はもちろん、学校が危険になった時の広域避難場所、また、災害用伝言ダイヤルや掲示板のご利用方法などを、普段からご家族で話し合っておくことが重要だと思います。

最後に、南区でも段階的な停電の可能性があることは報道の通りです。より一層の節電にご理解とご協力をお願い申し上げます。

私の祖父も宮城県の出身で、今回の出来事は他人事

さらに、車やバスをはじめとした交通機関、インターネットや携帯電話などの通信障害が生じ、依然として多くの方々の生活に支障を



◇昭和56年6月、横浜生まれ(29歳)。幼少よりスポーツに励み、横浜高校では野球部に所属◇桜美林大学に進学も家業の閉鎖により勉学を断念し、南区リサイクル会社に就職◇すが義偉衆議院議員の秘書として政治の道に入り、まちを歩き、多くの人と出会い、南区の暮らしにふれる◇安全・安心で人間味あふれる温かい地域づくりをめざして現在活動中

ご意見・ご要望は
TEL&FAX 045-243-2026

ゆさ大輔

検索

災害用伝言ダイヤル171

きたしております。
私も地域のスーパーやお店と連携を図り、事務所の手洗いを開放し、休憩場所としてもご利用いただきましたが、急な事態に個人としての対応には限界がありました。